

## 作品一覧

2025-04-24 『そして、バトンは渡された』 瀬尾まいこ

### 何でも読もう会

書物名	『そして、バトンは渡された』	開催日	4月24日	出席者	5名
作者	瀬尾まいこ				
<p>今までは本屋大賞の『発掘本』を読んできたが、若い人向きと言われている本屋大賞受賞作品(2019年)『そして、バトンは渡された』を読んできた。</p> <p>家庭崩壊や親による子供虐待や「トー横キッズ」が報道される中で、元気に明るく、前向きに生きる高校三年生の話だ。各種の学校行事や恋愛やスイーツの話も出て来る。</p> <p>主人公『優子』の生い立ちは3人の父親と二人の母親に育てられ、水戸優子⇒田中優子⇒泉ヶ原優子⇒森宮優子と姓が変わったが、親と喧嘩したり家出したりすることもなく、真っ直ぐに育っていく話だ。やや出来過ぎの感ではあるが、心地よい読後となった。</p> <p>構成が巧みだと思う。優子の高校三年生の一年間を描きながら、随所に過去の家庭状況を自然な形で挿入させている。第二章では社会人から恋をして結婚へ。その結婚シーンは「森宮さん」の視点で描かれている。</p> <p>お父さん読者としては花嫁として育つ娘への気持ちがよく出ていたと感じたものの、一方では、冗漫なテレビドラマや漫画的だと言う厳しい見方もあった。</p> <p>さて、今どきの高校生はどんな反応をするのだろうか。映画化されそれなりの支持もあったようである。</p> <p>偶にはちょっと目先の違った本も『何でも読もう会』らしくいいように思った。次回は少し硬い本になるようだ。</p>					